

公益社団法人白河青年会議所

2024 年度 理事長所信（案）

理事長 吉成 茂

「スローガン」

人生一度

～成功ではない挑戦しよう！白河JC～

【御礼】

昨年度、私たち公益社団法人白河青年会議所は創立 65 周年を迎え、多くの方々に白河の地に来ていただき、65 周年の集大成をお披露目することが出来ました。これもひとえに皆様のご支援、ご協力を頂いたおかげだと感じております。記念事業、記念式典、祝賀会と様々な事業を無事に終える事が出来ました。心より感謝申し上げます。

【はじめに】

私は生まれた時から白河青年会議所を近くに感じていました。先輩方が作り上げてきた変革、情熱を幼少期から触れてきました。その時代から変わらぬ「奉仕」「修練」「友情」という三信条の下、明るい豊かな社会の実現は令和の時代も変わりません。しかし、時代とともに人、まちは変わっていきます。創立より 66 年、物質的に豊かさを得られた一方で少子高齢化や人口減少、犯罪等、この他にも様々な社会問題がある中、家庭、会社、生活は先代と同じようにはいきません。特に新型コロナウイルス感染症の流行は、社会生活を変えました。しかし、2023 年 5 月に 5 類感染症に分類されたことで、リモート会議など、新しい手法を取り入れながら、社会は成長していると考えます。これからの私たちは今までの歴史を踏まえ新しい時代を考え、何事にも挑戦することがこれか

らの白河青年会議所の歩む道だと考えています。

そして、私たちが間違っていないことを世界に広めるべきだと考えています。世間では青年会議所が様々な言われ方をされているのをよく聞きます。しかし、我々青年会議所は今までも、これからも地域、日本、世界のために率先して行動しており、この先の時代もこの強い気持ちを持って挑戦して参りたいと思っております。

【地域活性を考える】

正直、私たち青年が40歳までにしらかわ地域の未来を極端に変えることはできないかもしれせん。しかし、しらかわ地域を盛り上げよう！という一心で、諸先輩方が様々な魅力ある活動、運動を行っていたからこそ、今のしらかわ地域があると思っております。

しらかわ地域には多くの魅力があります。自然、歴史的建造物、観光名所、特産物など、これらをスポーツや飲食などと掛け合わせ、さらに各地の団体が行っている魅力ある事業と融合することで、さらなるまちづくりに繋がると考えます。この魅力あるまちづくりをすることが新たな地域価値を見出し、交流人口、まちづくりに繋がり地域活性に繋がると考えます。

【人材育成を考える】

ひとづくりはまちづくりとよく言います。少子高齢化のこの時代だからこそ、これからの未来のある子どもたちに学校、家庭では得られないような機会の提供を私たちが率先して行うことで、ひと、まちは変化し、明るい未来があると考えます。

また、青年会議所を知らない、知ることがない若者はたくさんいます。その中でも起業したいという若者が多くいます。それは私益的な考えではなくしらかわ地域を盛り上げようという思いを感じます。この多くの若者たちと一緒に考え行動に移し、何事にも挑戦することが、これからのしらかわ地域を作りあげる上で不可欠だと考えています。

私自身は、幼少期から白河青年会議所の活動に接し、今、一緒に活動しているのがその時の子供たちです。私は歴代理事長である父の背中を見て、白河青年会議所を近くで感じていました。そして父の生き方を考えると、青年会議所メンバーは一生の仲間だと感じました。

わたし一人では成し遂げられません。しかし、仲間がいるからこそ成し遂げると思います。

【広報】

旅行に行くところに行きますか？大型ショッピングモールに行きますか？わたしはその地域の文化遺産、観光名所を検索していきます。現代、様々な広報手段があります。YouTube や SNS では一般人でもいつの間にか有名人になる時代です。この時代背景を踏まえながら、私たちはしらかわ地域の誇れる歴史的文化や、魅力的な人材、人間味を白河青年会議所というツールを使って全国に広報する必要があります。ひとやまちを考えての広報を行うことで、私たち白河青年会議所の活動、運動を日本中に知っていただくよう邁進して参ります。

【会員拡大】

いつの時代になっても会員拡大は重要です。この一番の近道は魅力ある団体になることだと考えています。今、白河青年会議所には何を求められているか。会議時間の短縮、お金の節約、共働きが当たり前のこの時代。志を同じくして、地域市民、家庭に理解のある団体を作り上げることが会員拡大の近道だと考えております。そして、ひとりひとりの個性を活かし、新しい風を生むことで社会発展につながり、地域のリーダーが生まれると考えます。

【組織・人間論】

この組織は約 40 人在籍しています。ひとりひとり個性があり十人十色です。その中で責任をもって行動することは必要なことだと考えます。今の自分と立ち位置、責任はどこにありますか。リーダーとなる人材が増えることで、素晴らしい事業、定例会を生むと考えます。地域活性、人材育成

を十分に理解しているからこそ青年会議所のリーダーになる存在が生まれると思います。そして優秀な人材とのつながりが、個人の新たな挑戦を支え自分の殻を破り、

「ちょっとした手助けをする」「助言を求める」「自分を振り返る」「自分を伝える」といった小さな行動が、良好な関係を築きあげます。

また、人の価値観はそれぞれだと思います。何を思って相手に意見を言うか。その言葉は思いやり、愛があって発している言葉なのか。「人」は助け合っていくことが大切だと思います。

これからのしらかわ地域を作っていく同志達が志を一つにしなければ今年のみならず、5年、10年と作り上げることはできません。

わたしの基本理念でもある言葉があります。

思考に気をつけなさい それはいつか言葉になるから

言葉に気をつけなさい それはいつか行動になるから

行動に気をつけなさい それはいつか習慣になるから

習慣に気をつけなさい それはいつか性格になるから

性格に気をつけなさい それはいつか運命になるから

会員ひとりひとりが各種団体、関係者、そして白河青年会議所の同志のことを思いあうことがこの先の未来へ繋がると考えます。

【むすびに】

人は喜んだり、怒ったり、悲しんだり、楽しんだりします。

青年会議所は「奉仕」「修練」「友情」の三信条の下、ひとりひとりが成長することで、地域、日本、世界を成長させる人材を生むと考えます。

ただそれは一度の人生の中でしか経験できません。

人生一度。悔いなく生きましょう。

成功を望むではなく挑戦をしよう！白河JC